

令和3年度第1回 岩手県人工知能ビジネス研究会

日時： 令和3年8月5日（木）15：30～17：30
オンライン開催（Zoom）

～ 次 第 ～

1 開会

2 あいさつ

岩手県商工労働観光部副部長兼商工企画室長 木村 久

3 岩手県人工知能ビジネス研究会について（15：35～15：40）

岩手県商工労働観光部商工企画室新産業育成課長 藤村 真一

4 講演

(1) 「中小企業における AI 導入の活用・促進

～経済産業省の取組と事例紹介～」（15：40～16：15）

講師：経済産業省商務情報政策局情報技術利用促進課 課長補佐 金杉 祥平 氏

(2) 「外観検査工程における AI 導入の実際」（16：15～16：50）

講師：株式会社ヨシズミプレス 専務取締役 吉住 研 氏

～ 休 憩 ～

(3) 「中小企業支援者の観点からの中小企業への AI 導入に関して」（16：55～17：30）

講師：マッキンゼー・アンド・カンパニー パートナー 櫻井 康彰 氏

5 閉会

【講師プロフィール】



経済産業省商務情報政策局情報技術利用促進課 課長補佐 金杉 祥平 氏

2006年経済産業省入省。電気事業制度のルール整備や1F（福島第一発電所）の廃炉推進に従事し、2021年5月から現職。

情報技術利用促進課では、数理・データサイエンス・AIを応用して問題を発見し解決する、Project Based Learningを中心とした課題解決型AI人材育成事業（AI Quest）を担当。



株式会社ヨシズミプレス 専務取締役 吉住 研 氏

日本工業大学付属高校（現日本工業大学付属駒場高校）を卒業後、同社に入社。

先代の下で金型技術を学ぶ。3D CADとマシニングセンタをいち早く導入し、複雑金型の精度を向上させる。

また、それまで社内になかった深絞りや板鍛造技術を習得し、切削部品のプレス化や、2部品の1部品化などVE提案を基本とする営業に取り組み、試作開発から大量生産までの一貫体制を確立。

近年ではデザイナーと組み商品開発に着手するなど、プレス加工の可能性に挑戦している。



マッキンゼー・アンド・カンパニー パートナー 櫻井 康彰 氏

マッキンゼー・アンド・カンパニー日本支社東京オフィスパートナー。消費財小売り、公共セクター企業に対して主にデジタルを活用した変革をリード。特にデータの利活用の領域で大企業・中小企業へのAI活用事例などの経験を豊富に有する。ハーバードビジネスレビューなどの執筆多数。東京大学法学部卒業、ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院修了。

岩手県人工知能ビジネス研究会について

1 目的

人口減少・労働力不足などの課題解決に活用が期待されている人工知能技術（AI）について、県内中小企業における効果的な利活用を促進する。

2 活動内容

（1）普及啓発

- ・ AI 導入のメリットや、導入を阻む課題の解決手段等の理解
- ・ 同規模・同業種での AI 導入先進事例の共有

（2）施策検討

- ・ 導入促進に向けた効果的な取組の検討

（3）具体的な導入支援

- ・ AI 導入のシミュレーション
- ・ サービス提供企業、産業支援機関等とのマッチング 等

※ 県（商工企画室）が事務局となり、セミナー・ワークショップを開催する形式で実施。

3 主な参加者

取組に興味を持つ産学官金の関係者（研究会開催の都度、参加募集を行う。）

4 今年度の活動予定

第1回（8月）	AI 導入促進に係る国の取組、調査結果等の共有
第2回（10月）	企業への導入事例研究、効果的な取組の検討
第3回（12月）	AI 導入のシミュレーション
第4回（1～2月）	データ連携等による商業・サービス業での AI 活用の事例共有 等

※内容は変更することもある。

5 その他

本研究会に係る事務は、岩手県商工労働観光部商工企画室において行う。